

青梅市社会教育委員会議 4 月定例会会議録

日 時

令和 6 年 4 月 1 6 日

会 場

市役所 2 階 2 0 1 会議室

出席者

(委員)

宮野委員、吉野委員、富田委員、神山委員、市川委員、栗原委員、
鈴木委員、鶴岡委員、白井委員、園田委員

(事務局)

平岡課長、柘植係長、橋本主任、
遠藤前課長、土屋前係長、

欠席者

(委員) なし

1 開 会

(委員) 桜の時期が過ぎ新緑とともに急に暑くなった。4 月の人事異動で社会教育課も想像以上の職員の異動があったよう。これからも皆様の協力とともに進んでいきたい。

(課長) 議会事務局から異動してきました。課長・係長ともに異動があり、不明な点もあるものの、委員の皆様にお力添えをいただきつつ早く仕事を覚えて、頑張っていく所存です。

2 報告事項

(1) 人事異動について

(報告資料 1)

(事務局説明) 社会教育課は課長・係長・係員の計 3 名の異動あり。前課長・前係長から挨拶いたします。

(遠藤前課長) 課長・係長ともに異動しました。社会教育課長としての在任期間の 2 年 6 か月の間大変お世話になりました。異動先は病院の総務課で全く新しい仕事ですが頑張っていきます。皆様にはまたお世話になる機会があると思いますのでその節はよろしくをお願いします。ありがとうございました。

(土屋前係長) 社会教育課には係員で 3 年間、係長で 6 年間在任し、最初に担当した委員会が社会教育委員会議でした。その間関東甲信越静やブロック大会などいろいろ行かせていただきました。担当市として東京大会が成功したのも皆様のお力があってのものだと思います。また、新型コロナによる行動制限などで前例踏襲では済まない場面も多くありました。そこを乗り越えられま

したのは皆様のお力添えがあったからだと思います。異動先は防災課防災係ということで地域防災に関することで皆様には今後ともお世話になることもあると思いますので、よろしくお願いいたします。

- (2) 令和5年度社会教育委員会議案事項等記録について (報告資料2)
(事務局説明) お気づきの点があればご指摘いただきたい。
特に意見なし

- (3) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料3)
(事務局説明) 3/27の教育委員会提出資料です。
特に意見なし

- (4) その他
特になし

3 協議事項

- (1) 青梅市社会教育委員会3月定例会会議録について (協議資料1)
(事務局説明) すでに電子メール添付にてご確認いただいておりますが、何かあればご指摘願います。
(委員) 美術館運営委員会に関する言い回しで、「社会教育委員会議で出た」とあるのを「社会教育委員会議から出した」に変更したほうが提出したことが明確になるので、変更願いたい。
(事務局) 確認し変更して教育委員会に報告したい。
指摘事項のとおり変更することで承認

- (2) 令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について (協議資料2)

ア 日 時 令和6年4月20日(土) 午後1時から
イ 場 所 調布市文化会館たづくり くすのきホール
ウ 内 容 ・表彰
・議事(令和5年度事業・決算報告、令和6年事業計画等)
・講演会 小林 繁(明治大学文学部教授)

エ 出席者

宮野	吉野	富田	神山	市川	栗原	鈴木	鶴岡	白井	園田
×	○	×	○	○	×	×	×	×	○→ ×

- (事務局説明) 出席者3名のうち神山委員は直接会場に向かい、委員2名と事務局は11時市役所集合で庁用車で向かうことに決定した。

- (3) その他
特になし

4 その他

(委員) 3月23日に行った「ジェンダー平等講演会」について、事前申し込みは35名ほどだったが、当日は50名ほどの参加者があり、急遽椅子並べを行うなど大変なこともあったが、生涯学習部長と市長にも参加していただいた。

本人は泣きながら発表し、聞いている皆さんも泣きながら聞くなどとても一体感のある良い講演会だった。最後に質疑応答の時間があったが、普通の講演とは違い、参加者の多くが手を挙げて感想を言っていた。特に横浜から来た小学校の先生2名が、最初に人権研修で講師の講演を聞いたときに感動したのでこの講演会にも出席したとのこと。そのうちの1人の先生が体験談として、暴力をふるう児童がいたときに、普通であれば単に暴力を禁止するだけのところを、この講師の講演を聞いたことで、まずはその児童に問いかけることにして、それによると家庭で暴力をふるわれるとのことだったので、その先生は「暴力をふるいたくなったら先生の所に来なさい」と指導したところ、しばらくしてその児童が立ち直ったという、とても良い話を発表した。

トランスジェンダーに限らず「ありのままの自分で良い」というメッセージを伝える講演になったと思う。

青梅市の市民安全課の中にもジェンダーに関する部門ができたので、このまま発展して市職員や学校の先生にも聞いてもらえるようにしてもらいたい。新町中の校長先生は今年「本物に学ぶ」という目標でいろいろな方に講演を依頼しているが、来年度はこの講師を呼びたいとのことであった。

ほかにもこの講師の講演を聞きたいという団体があれば声をかけていただきたい。

(委員) 現在は多様性の社会を受け入れることが求められているので、青梅市でも新しい組織を作ったのだと思われる。委員によって講師との良い御縁を結んでいただいたので学校等でも取り組みを続けていただきたいと思う。自分の経験で学童保育の際に多動性のある児童を受け入れたことがあり、母親はそんな子供の様子を隠すところがあり、直していこうともしていたが、やはり大変だった。現場に行ったときに、障がい児を持つ親御さんの苦勞、それをみる先生たちの苦勞を改めて感じた。行政としてしっかりサポートして手厚い支援が出来たらいいのではと思う。

(委員) 青年会議所で 4/20 に新 5・6 年生を対象として「地域スポーツにふれる」と題して、ゴールデンエイジがスポーツに触れることを目標として、今回はハンドボール・ラグビーに触れる機会とする。

(委員) 継続的な取り組みになるのか。

(委員) 青年会議所の事業は単年度ごとの計画なので、今年度はスポーツについて行なう。

(委員) 前回、美術館運営委員会が延期している旨を伝えたが、4 月 30 日に行なわれることが決定したのでこの席でお伝えしたい。

～他に、個別の団体に関する質問あり。～

次回定例会 5 月 21 日 (火)